



9月16日(土)午後1時40から、演劇部は3年1組において、北斗祭最終公演「あなたを忘れない。シーンはやや長い。」を行いました。劇は、コメディータッチで繰り広げられ、観劇した来場者を笑いと感動の渦の中に巻き込みました。

2年生・1年生の新体制になってから部員数が8名とやや少ない人数となりましたが、北斗祭では、2作品をそれぞれ2回ずつ合計4公演行いました。午前の部では、公演名:「取調室」を2回公開し、午後の部では、公演名:「あなたを忘れない。シーンはやや長い。」を2回公開とエネルギーに公演を行い、来場者から好評を博し惜しみない拍手が送られました。



演劇部最終公演のカーテンコール



最終公演のワンシーン

男子生徒の芸達者な演技に魅了されました

【あらすじ】

物語はすでにラストシーン。女の目の前にいたのは、死んだはずの恋人。そう、今まで幽霊となって、女を陰ながら見守っていたのだ。だが、男は役目を終え、天国に旅立とうとしている。別れを惜む女。問題があるとすれば、別のシーンが長すぎることだ……。



9月15日(金)・16日(土)の2日間、生物部は、生物実験室で日頃の研究の成果を発表するとともに、日頃育てている生き物を公開しました。

また、生物部の顧問である木村教諭の自宅で飼っているケツメリクガメ(砂漠周辺やサバンナに生息)の「カメタン」が、来場者のお相手をしました。木村教諭の自宅で飼われている「カメタン」の年齢は15歳で、体重は40キロです。食性は、植物食で、木村宅ではキャベツとニンジン主食として与えているそうです。文化祭期間中、来場者が「カメタン」にキャベツとニンジンを与えるという体験も行いました。



ケツメリクガメの「カメタン」



ニンジンを与える生徒



キャベツを食べるカメタン



男子生徒が乗っても大丈夫!